

明治廿六年九月十八日
文部省檢定

三宅米吉校閱
中根淋政編纂
渡邊政吉編纂

實驗
日本修身書卷一
尋常小學
生徒用

東京 金港堂書籍株式會社

第一課 父母の

とりけものの
うの子を



れもふをみても、フ父母ボ
のわれらをあいするの
あつきをーるー。

チチハハ



第二課 孝行

ふさはつねに
父母のげふ
をたすけ、また

よくうのころをなくさめ
たり。

父母のげふをたすくるは、
子たるものつとめなり。

第三課 孝養

祖父 ソフ 祖母 ソホ に

つかふる こと

父母にひと



かる べし

藤藏 トウザウ は、祖母 の びやうき

の やまーんせうに ならせり

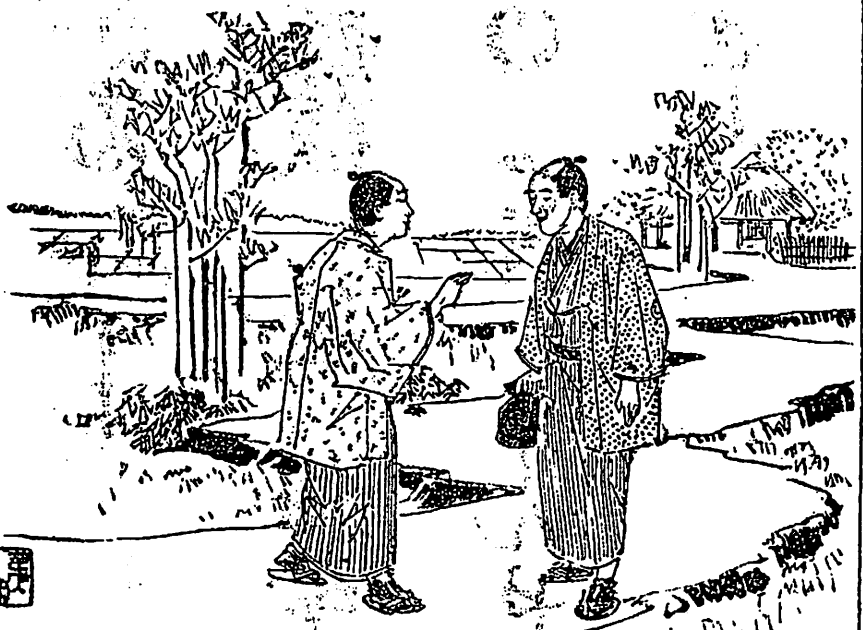
せり。

第四課 兄弟

太四郎タシラウ兄弟ケイヤウダイ

はむつまじく

まどはりて



親オヤのころをなぐさめ

たり。

兄弟むつまじくて、父母の

ころをよるいはるむ。



第五課 兄弟

北條泰時は

ホツ デイウ ヤス トキ

よく弟を

オトウト

いつくぐりぬもの



を分つに、己れは、少くとり

ワカ

オン

スクチ

て、弟には、多々、あたひたり。

オホ

兄弟は、弟妹をいたはる

アニ アチ

オトウト イモウト

こと、子のごめんす。



寶日才修身書 卷一



第六課 信實

信太郎 はいっはり

をかたらず

かきかへてよく

ずしてよく友だちと
まじりたり。
友だちにまじはるには
信實をだいとす。

第七課 朋友

友だちになんぞ
あればたかひ
になすけあひ



て、たのもしくすべー。

ナホキチ

直言は、友だちのくわどに

てやけーさき、かねをか

て、ねんごろになすけたり。

第八課 言語



言葉を一つ一つ
コトバ 言をつつしま
 されば、あざはひ
 をひきかえす

勇

ことあり。ユウサク 勇作が、きやくの

心ココロをうごかすひたるをみて

も、これをしるべし。

あざはひは、口クチよりたこる。

第九課

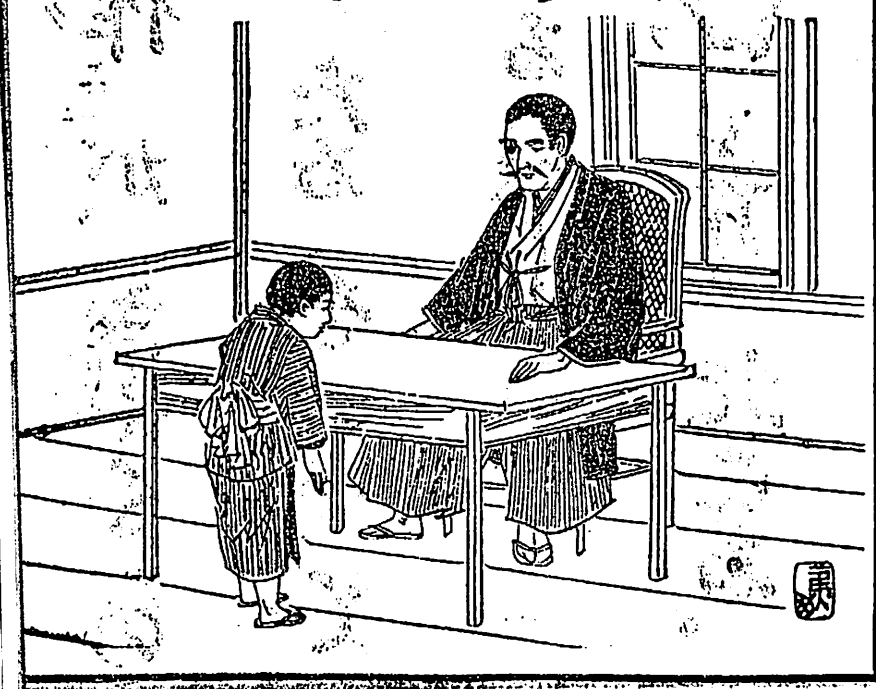
驕慢を制す

ヒヤウスケ

兵助は、もの

ねほねよま

ごどもなり



いがかうまんの心たこり

て、かくげいをねこたり、つひ

にうけんにならぐたいせり。

まんは、うんをまねく。

も第十課の師である

ワカバヤシ シンシチ
若林新七はよろ

センセイ
師にいつか入

がくもんをのぞめ



て、なだかき人となりたり。

師の恩は、父にたなり

さくらのたふせをまもつ

てらるまひかぶり



真

第十一課 温和

あつうはざるは
人にまぐはる
のみぢなり。

トク
タ
ラウ
徳太郎 は、ねこなひ ただしくー

て、人 とあつうひ たること
なかり ければ つひに 人に
うやまはれ たり。

第十二課 弘量

イタクラシゲマサ
板倉重昌はけら

のため、たいせつ

のゆみををられ



たれども すこしもいか
らず。かえりてその人を
なぐさめたり。

かんにんのなるかんに
んは、たれもする。なら
ぬかんにん、するがかん
にん。

第十三課

みのあやまちをかくし
おきて、人をあざむくは
よろしからず。

あるこどもさらをわり

てかくしおきけるが、父
のはなしをききて、大い
にこうくわいし、なきて
そのつみをわびたり。

あやまては、あらたむ
るにはばかるなかれ。

第十四課

あやまちを

あらたむれば

あやまちなき

人となる

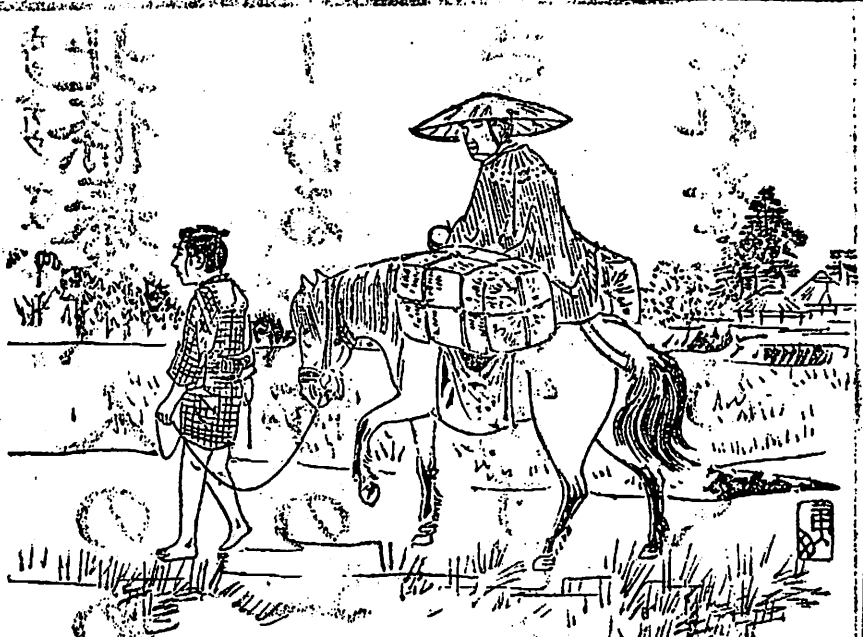
北條泰時ホウゲイ ヤスチキ人のあつひをほかん

けるにうの一人ニツカ自らあまちを

あつひをあらひをやめければ泰時

これをほめて、ほびをあたたり。

第十五課 勤儉



キンケン
勤儉はみをたて

ハタシキケンヤク
いしををさむる

のもとなり。

新七シロシチはまづ〜人につか〜

がよくげふをつとめ、つひにを

はぶきて、いしをたこ〜つひにあまた

の人をもつかふみとなりたり。

第十七課 仁慈

ウ エ モシ フツフ
宇右衛門夫婦は

いふくたはたをら

はらひつゝあたる人



をたすけ、またうのむすめもいふくを
ぬぎて、ごじはたる人にあたつたり。

己れあたたか なりとも、人
のむむさをねもふし。

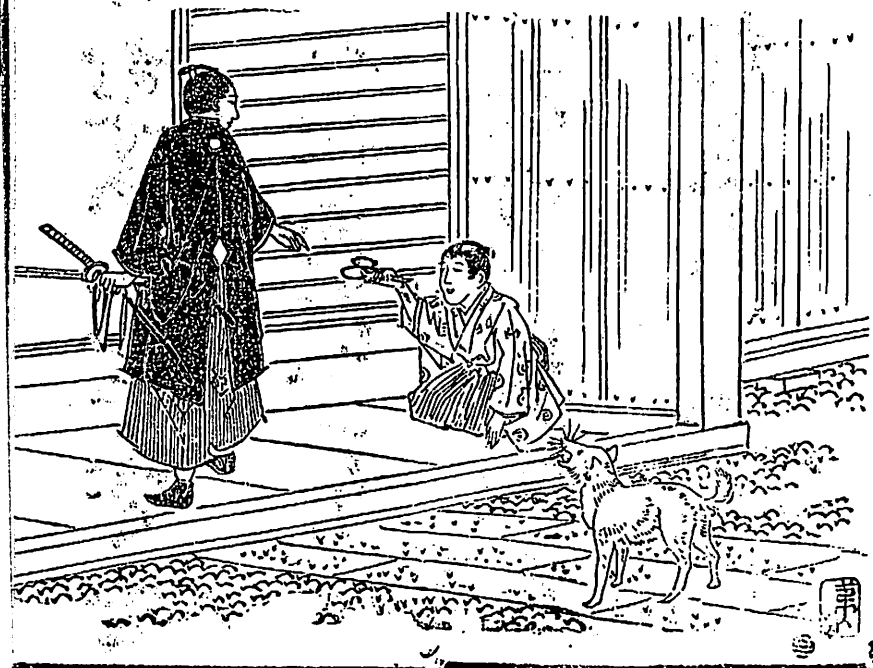
第十八課 仁恕

ヲカモトハシスケ

岡本半助は、ゆん

より、^{イヌ}犬のみみを

きれ。といはれたる

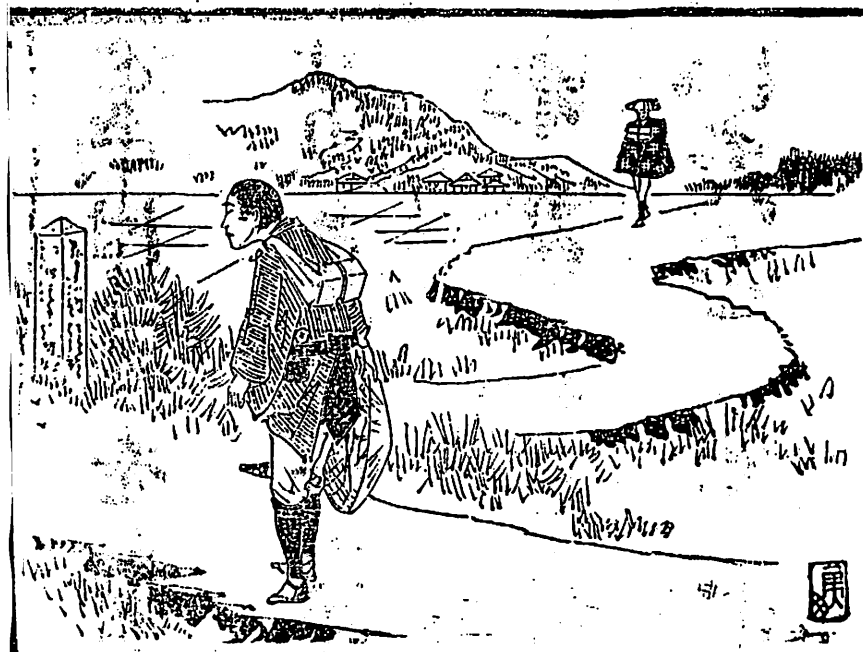


「まじいおみをもちらびて、まじいせん

より、こころみたまへ。」といひたり。

わがみをつんで、人の

いたさをしれ。



第十九課 學問

よみかきせしむられ
 ばよろづのいぬに
 ふしうられほし。

竹次郎タケジロウといふる人はみちへるをよみ

いざしとみちにまよひたりぬ。

かくもとはよろづのいぬを

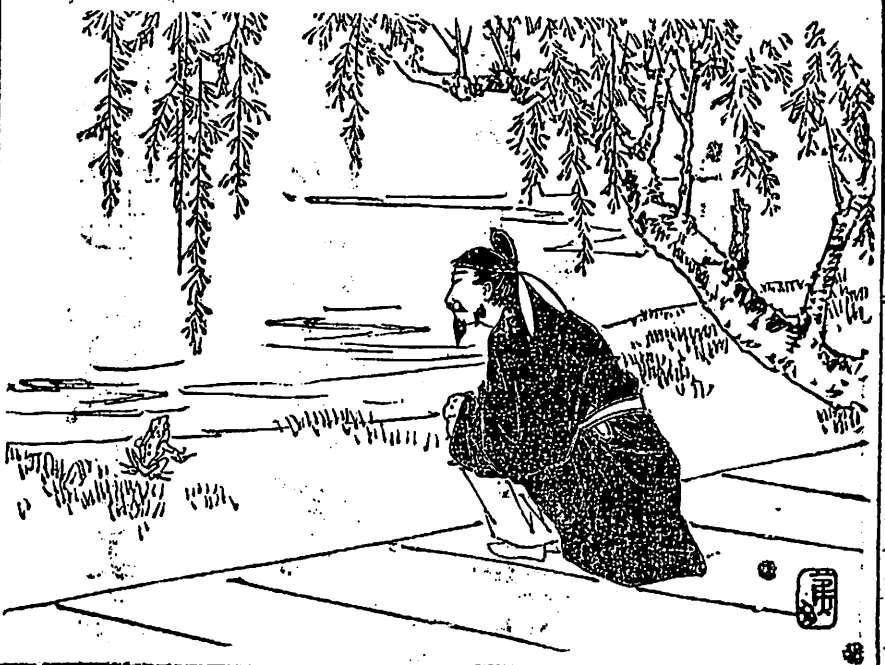
なしらるもぬなり。

第二十課 忍耐

むかーヲノノダツスガ小野道風と

いへる人ありかばづ

のちなきのじだに



どびつきたるをみて、一とばうのたいせつ
なるこめを、めいじつ、ひならひをばげみ
て、なだかき、てかきととなりたり。

ねいたら、げれば、なびいれもなる。

明治廿六年六月十日印刷
同 年六月廿七日發行

定價

生徒用 入門卷一金四錢貳厘 入門卷二金六錢
自卷一至卷六各金六錢六厘
教師用 入門卷貳拾四錢 上級金貳拾四錢
中級金參拾六錢 下級金參拾六錢

著作者

渡邊政吉
本郷區森川町壹番地

發行兼
印刷者

金港堂書籍株式會社
日本橋區本町三丁目十七番地

版權所有

代表者

右原亮三郎
下谷區龍泉寺町四百十番地

賣捌所

金港堂
大阪市東區南本町四丁目
金港堂
宮城縣仙臺市國分町五丁目